

2020年1月10日
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平
担当ワーキンググループ主査 作本 直行

インド国北東州道路網連結性改善事業（フェーズ4）
（有償資金協力）
環境レビュー方針に対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2019年11月29日（金）14:02～16:40
- ・場所：JICA 本部（1階 111会議室）
- ・ワーキンググループ委員：石田委員、小椋委員、作本委員
- ・議題：インド国北東州道路網連結性改善事業（フェーズ4）（有償資金協力）に係る環境レビュー方針についての助言案作成
- ・配布資料：
 - ・ EIA_20191129_助言委員会WG資料_北東州道路網連結性改善事業（フェーズ4）
 - ・ SIA_20191129_助言委員会WG資料_北東州道路網連結性改善事業（フェーズ4）
 - ・ インド国北東州道路網連結性改善事業（フェーズ4）環境レビュー方針案
 - ・ 回答表
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2010年4月）

全体会合（第109回委員会）

- ・日時：2020年1月10日（金）14:00～17:06
- ・場所：JICA 本部（1階 111-112会議室）

上記の会合にて助言を確定した。

助言

全体事項

1. 住民の生計・生活へのプラス効果をモニタリングの項目に含めるよう実施機関に申し入れること。

環境配慮

2. 供用開始後の5年目以降も、適切かつ持続的な道路維持管理を実施されるよう申し入れること。
3. CO₂削減のための方策として、ドライバーへの啓発活動、エコドライブの推進、電気バス・自動車の普及、オフロード排出規制等への対応等、実施機関がさらなる意識向上を図るよう申し入れること。

社会配慮

4. 代替住宅を斡旋する場合、世帯の人員数にも配慮することを申し入れること。
5. 建物構造物への影響性（Impact on structure）と残存物件の有効性（店舗や住居としての用途を果たすのかどうかの可否）（unviable）との関連性を確認すること。
6. 被影響世帯の中に就学児童が含まれ、当該就学児童の通学に不便をきたす場合、スクールバスの供与を検討するよう実施機関に申し入れること。
7. ステークホルダー協議において、参加者から現在の道路線形案では宗教施設及び市場の移転を含む負の影響が生じると指摘されていた事項に関し、確認を行い、必要に応じて当該施設にかかる線形代替案分析の妥当性の有無を確認し、適切な対応を行うよう申し入れること。

以 上